

産業教育講演会

1月10、県庁講堂にて「産業教育講演会」が開催された
講師は、生野保氏で、日本のモノづくりをリードしてきた技術者のひとりである。講演で印象に残った言葉をつづります。

講師：生野保幸氏

TOTO 勤務時代（幾度の社長賞）
現代の名工／北九州マスター
県知事賞／福岡県市民教育賞
文科大臣賞／黄綬褒章

● 言われたことをするだけではダメ

自ら創造する力のある人材を育成する必要がある。感性と問題解決能力が必要
科学・技術・技能の三位一体 + アート感覚 + マネジメント能力 + グローバル感覚

● 日本のモノづくりは大丈夫か！

製造業での数々の不正⇒経営者が技術ではなく、生産性のみを追求したつけ
人材、技術者を大切にしない経営のつけ

● 目標達成の絶対条件は、行動を起こすこと

考えても行動しなければ解決しない、気づきと行動、実践主義が大事

● 守 ・ 破 ・ 離

守（基礎基本）→破（応用展開）→離（想像）→+α→自己実現

● 成果主義だけでは想像は生まれない

長いスパンで考える必要がある

● 課題に取り組む心構え

「できない理由を考える」タイプと「できる方法を考える」タイプが存在する

● 百聞は一見に如かず

百聞は一見に如かず（いくら人から聞いても、自分で見なければ分からない）

百見は一考に如かず（いくらたくさん見ても、考えなければ前に進まない）

百考は一行に如かず（どんなに考えても、行動を起こさなければ前に進まない）

百行は一課に如かず（どんなに行動しても、成果を残さなければ成長しない）

県立学校校長研修会

1月12日、県庁にて県立学校校長研修会が開催された。

講演は2本あり

①「チーム学校におけるカリキュラム・マネジメント」：千葉大学特任教授 天笠茂氏

②「広大接続改革の現状と今後の学校現場での対応」：ベネッセ九州地区統括責任者下村敏樹氏

講演内容は後日、報告します。以下、行政説明の部分をかいつまんで報告します。

人事行政について

● H29年度 懲戒処分について

● 臨任の登録について

・臨任の登録が少なくなり、大変困っている

● JICA「現職教員特別参加制度」

保健体育課

●運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン
・運動部活動の運営の適正化に向けて、練習時間、休養日、指導の充
実、部活動指導員の活用・・・をとりまとめたガイドラインを公表す
る予定

●部活動指導員の制度化(現在の外部指導員とは異なる)←働き方改革
・部活動指導員とは、校長の監督を受け、部活動の指導や大会の引
率
等が単独でできるもので、「学校教育法施行規則」に新たに規定
された。

●交通事故
・12月末現在、高校生による死亡・重傷・懸念事故は17件

教育支援課

●授業料等徴収条例の改正
・最終学年の授業徴収を現行の3月10日から2月10日(2, 3月一緒
に)
に変更(現、1, 2年生から適用)

●沖縄独自の給付型奨学金
・専門学校進学者に向けた奨学金(本県のみ)
・主に観光、情報産業分野となっているが語学や美容等々の観光に
関連
する進学先でも可。指定分野以外でも各学校に1名の特別枠
設ける
・学力のみでなく意欲等も踏まえて判断(本県のみ)

産業教育班

●就職について
★決定率
・前年度を下回っている(12月現在)。求人数も増加し、求人倍数も
改善
しているのも関わらず決定率が下がっていることはゆゆしき問
題

特に普通高校の落ち込み。
・就職希望者のうち、11月末で1社も応募したことのない生徒が26.3%もい
る

★就職未決定者サポート研修1/22～2/6

・学校に講師を派遣し、未決定生徒、保護者と面談(希望者)

★ハローワークへの求職登録

・1月からは一般求人への応募可。ハローワークへの登録が必要

●産業教育フェア

・次年度も浦添市民体育館で調整中 今年度2万人の来場あり

●専門高校生国外研修

・オーストラリア研修、台湾研修

●技能五輪・アビリンピック大会

・平成30年11月2日～5日 コンベンションセンターを主会場

● 中央研修

- ・ 中堅教員研修10日 4人程度(15日から縮減、補充なしとなる)
- ・ 【新】次世代リーダー研修5日 2人程度
- ・ 事務職員研修5日 2人程度